■職員募集案内■





沖縄の企業支援に
一緒に熱意を持って取り組みたい方を
募集しております






公益財団法人
沖縄県産業振興公社
Okinawa Industry Promotion Public Corporation

【沖縄県産業振興公社って？】

企業支援を通じて、
沖縄を元気にする仕事をしています！



那覇市小禄にある
沖縄産業支援センターの
４階に事務所があります

モノレール小禄駅から
歩いて15分で着くよ！



事務所出入り口


事務所内


セミナーの様子

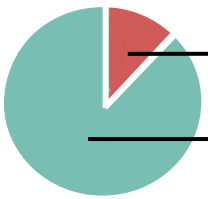
- 経営支援部
  - 経営支援課
  - 事業支援課
- 産業振興部
  - 海外・ビジネス支援課
  - 産業振興課
- 総務部
  - 総務課

■海外事務所：７拠点
→ソウル、北京、上海、福州
　香港、台北、シンガポール

■委託駐在員
→タイ、フランス、オーストラリア、
　ベトナム、マレーシア、フィリピン

点線で囲った課にて、
それぞれ県内企業を支援しています。

■職員構成



- 正職員（総合職）
- 嘱託員等
  （各事業等にて配属）

今回は
正職員を
募集します

【沖縄県産業振興公社って？ 】

企業支援を通じて、
沖縄を元気にする仕事をしています！



総務課長

沖縄県産業振興公社では
沖縄県内の中小企業等のみなさまから
日々寄せられる経営相談のアドバイスなどを行っています
今回は各課でどのようなことをしているのか
どんな仕事か どんなことにやりがいを感じるか ご紹介します

経営支援課

■県内の中小企業・小規模事業者の経営を幅広くサポートし、企業が抱える様々な課題に応じた支援を行っています。

■幅広い事業を担当するため、職員同士で相談しながら進めることも多いです。

■「相談してよかった」「会社が変わった」と言っていただけたときに、やりがいを感じられます。



事業支援課



■県内企業の「稼ぐ力」向上を目的に人やモノへの投資、販路拡大、生産性向上に対する支援を行っています。

■具体的には、人材育成・採用、事業承継、県産品販路拡大や訪問型経営相談など、全部で７つの支援業務があります。

■30代～60代の多彩な専門人材が揃い、経営者の悩みに親身に寄り添います。

■支援先と共に課題を解決し、持続的な成長を支えることができたときにやりがいを感じられます。

【沖縄県産業振興公社って？ 】

企業支援を通じて、
沖縄を元気にする仕事をしています！

海外・ビジネス支援課

■県内企業の海外展開や海外企業の県内立地に関する各種サポートを行っています。また、日本最大級の食の商談会である「沖縄大交易会」の運営事務局も担当しています。

■海外で勤務経験のある職員も多く、外国語での会話もある部署ですが、明るく親しみやすい職場です。

■「海外企業との商談が成立した」など、相談企業から嬉しい声が聞こえた時、とてもやりがいを感じます。



産業振興課



■「ものづくり」「物流」「知的財産」に特化した支援事業のほか「沖縄の産業振興に資する」ことを目的とした幅広い分野に対応する支援を行います。

■企業の課題解決に向けた支援の一環として、セミナーやイベントを企画し分かりやすく伝えることも、公社の仕事のひとつです。

総務課

■理事会や評議員会などの法人運営業務、労務管理や経理などの業務を行っています。

■職員のみなさんが安心して働けるような環境づくりに取り組んでおり、また、他の課とも調整が多い部署でもあります。

■県内の中小企業等の方々を支援しているみなさんをサポートする役割に、日々やりがいを感じます。

他にも 聞きたいことがありましたら
お気軽に
お問い合わせください！



【３年目のホンネ】
～同期の３人が「振り返って思うコト」～　1/2



2023年9月
2024年4月　採用

総務課　　Mさん
事業支援課　Kさん
産業振興課　Yさん

公社を知ったきっかけ

――沖縄県産業振興公社（以下、公社）に入職して３年経過した３名のみなさんから、今回は「振り返って思うコト」をお伺いします。まずは、公社をどうやって知りましたか？

Yさん「就職活動をしている頃、実際に公社を活用したことがある父の知人から、公社の役割や支援内容の話を聞きました。海外に関わる仕事がしたくて、貿易会社や商社などを調べていました。県外の大学に在籍していたので、帰省のタイミングで企業訪問していました。公社もそのひとつで、担当の職員さんに説明をいただいたところ『メルマガに登録しておくと良いよ』と言われて、毎週メルマガを見ていたところ、職員募集の案内を見つけて応募しました」

Kさん「公社のことは知らなかったんですけど、先輩から『今度、公社で採用あるみたいだよ』と伺いました。興味があった企業支援に特化していることや、実際に働いている人から職場の雰囲気を聞いていくうちに『ここで働いてみたい』と思うようになりました」

Mさん「転職して環境を変えたいな、と思ったことがきっかけです。友達からも『公社や他の支援団体でも職員を募集している』と聞いて、情報収集していました。『沖縄大交易会というイベントを開催しているんだな』、『敷居の高い真面目な組織なのかな』と思っていました」

――敷居の高い(笑)。それでは、実際に入ってみて、どのように感じましたか？

Yさん「私は新卒で入ったので、実際に説明を受けながらイメージして取り組んだんですけど、マネジメントについて考えることもあって。難しいと感じたこともありましたが、同期やチームのみなさん、先輩方からもわかりやすく、いろいろ教えていただきました」



Mさん「公的な仕事を行うからハイレベルだろうな、と思っていたら本当にチームのみなさんの知識量が凄くて！　でも、凄く親身に接してくれますし、わからないことでも気軽に質問できることもとても助かりました」

【３年目のホンネ】
～同期の３人が「振り返って思うコト」～　2/2

Kさん「正直なところ、民間企業と違ってKPIの意識は低いのかなと思っていました。実際に、国や県からの事業を実施すると、かなり成果が求められることがわかりました。

自分にできるのかなと不安に思うこともありましたが、チームで知恵を出して、トライ＆エラーも重ねつつ行っています。とてもやりがいを感じます」



３年目を迎えて

――普段は同期のみなさんで、どのような話をしますか？

Yさん「部署がうまく分かれているので、お互いの仕事の情報交換をしています。困っていることをシェアしながら、助け合っていますね」

Mさん「私たちの他にも、同期３人組の先輩方もいて。目標にしています！」（ｲﾝﾀﾋﾞｭｱｰを指す）

――……なんだか照れますね、ありがとうございます（笑）。

Kさん「職員に限らず、年齢の近い嘱託職員の方も含めて、情報交換していますね」

――なるほど。ちなみに、仕事をしていて、大変だったことや驚いたことなどはありますか。

Yさん「ミーティングや外部との会議も、私がセッティングするため、最初は戸惑いました。契約書も初めてでしたから、どこに押印するのかなどは、絵を描いて覚えました」

Kさん「事務用品を１つ買うためにも起案が必要なことは、前職とは違います。予算管理の含めて、公的な資金を取り扱っているんだなという責任も同時に感じました」

Mさん「3年目になりますが、今でも先輩や同期と比べて『自分はまだまだだな』と感じることが多いです。でも、面倒見のいい人が多いので、助けてもらいながら少しずつやっています」

――最後に、これから応募を考えているみなさんへ、メッセージをお願いします。

Kさん「公社は、企業が抱えるさまざまな課題やニーズに合わせて、幅広い支援策を提案できることが大きな魅力だと思います。非常にやりがいのある仕事だと思いますので、企業支援に興味がある方や、これまでの経験を生かして挑戦したい方は、ぜひ一緒に働きましょう！」

Mさん「私自身まだまだで、日々『もう一回』と言われながら仕事をしています。それでも、周りに助けてもらい、一歩ずつやっています。最初は公社のことをよく知りませんでしたが、3年も続けてこられました。少しでも興味があれば、お気軽に応募してみてください」



Yさん「応募の準備で、沖縄の経済状況などを調べました。そういした勉強も楽しみながら、応募しました。公社の職員募集はなかなかない貴重なチャンスです。ぜひこの機会に挑戦して、一緒に沖縄の企業のみなさんをサポートできたら嬉しいです！」

【私生活も仕事も大事に～４つのポイント～】

１　休暇



・年休は最大20日！

・夏季休暇とあわせて
長期休暇もできる

２　育休



・復職率100％！

・最大２年取得可能

・男性の育休取得実績あり

３　給与・手当



・沖縄県庁職員と
同等の給与体系

・賞与は２回！（夏季・冬季）

※2026年10月現在

４　人材育成制度



・中小企業診断士
資格取得を奨励

PICK UP!

【育児休暇取得職員へのインタビュー】
～育休を２回にわけて取得　復帰後は働き方が変わった～



2019年4月　採用
海外・ﾋﾞｼﾞﾈｽ支援課 Kさん

取得総期間　5か月
①10月（1か月）
②12月～3月（4か月）

１　育休取得のきっかけ

育児休業制度を知っていたので、妻とも相談して育休を取りたいと思い、上司に相談したところ「ぜひ取得してください」と勧められました。

２　育休を２回に分けた理由

毎年11月に沖縄大交易会があるのですが、メンバーとして関わってきため、本番も参加したいと思っていました。そこで妻とも相談し、一度復職していました。復職中も早く帰るように努めましたし、周りのサポートもあって、無事に終了しました。その後、２度目の育休を取得しました。

３　育児中の気づき

育休中、妻や息子の体調を見ながら、家事や育児を行っていました。子育ては仕事よりも大変じゃないかなぁ（笑）。命を育てるのは大変で、本当、妻には感謝していますね。

４　復職してから

正直、復職は怖かったです。でも復職前に、課長から課のみなさんへ「みんなで事業をまわるように調整しよう」と話してくれたと聞いて、肩の荷が下りました。復職後は生活のルーチンが変わって、時間内に収めるべきこと、明日以降に回しても問題ないことなどを意識するようになりました。

【沖縄の企業を元気にしたい方の応募をお待ちしています】



事務局長

沖縄県産業振興公社の採用案内をご覧いただき、ありがとうございます。

沖縄県内の企業からの「どうやったら売上が伸びるのか」「もっと県外や海外に販路を広げたい」、そんな企業の悩みに耳を傾けながら、経営課題の解決へ導いていくことが私たちの仕事です。

今回、これらの支援事業の企画や業務を一緒に担ってくれる新しい正職員を募集します。多種多様な事業があるため、職員同士で協力し合い、お互いの強みや考えを活かしながら業務を進めていきます。

専門的な知識は入社してから少しずつ身についていくので大丈夫です。何よりも大切なのは、「沖縄の企業を元気にしたい」という純粋な気持ちです。企業に寄り添い、共に喜びや価値観を分かち合える温かい熱意を持った方とお会いできるのを楽しみにしています。

「沖縄を元気にしたい」という、熱意あふれるあなたからのご応募を心よりお待ちしております。

【正職員　募集案内】
https://okinawa-ric.jp/recruit/61517-1.html

ご応募を

おまちしています！

【問い合わせ】
(公財)沖縄県産業振興公社
総務課　新規採用担当



受付にぼくらもいるから探してみてね！

